

第10回 六ヶ所村新庁舎建設検討委員会 議事録

日時	令和5年6月16日(金) 14:00~15:30	
場所	中央公民館 集会室	
出席者	<p>鳥山義隆委員(六ヶ所村議会議長)</p> <p>附田角栄委員(六ヶ所村議会総務教育常任委員会委員長)</p> <p>高橋信委員(東北大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻技術社会システム専攻 教授) <b>【委員長】</b></p> <p>小藤一樹委員(学校法人八戸工業大学工学部土木建築工学科感性デザイン学部創生デザイン学科 教授) <b>【副委員長】</b></p> <p>小泉國雄委員(六ヶ所村行政連絡員協議会 会長) ※欠席</p> <p>三戸秀子委員(六ヶ所村地域連合婦人会 会長)</p> <p>種市治雄委員(六ヶ所村商工会 会長) ※欠席</p> <p>及川次夫委員(一般社団法人六ヶ所村観光協会 会長)</p> <p>橋本喜代二委員(社会福祉法人 六ヶ所村社会福祉協議会 会長)</p> <p>高田孝徳委員(六ヶ所村三漁協協議会 会長)</p> <p>石久保斉委員(六ヶ所村農業委員会 会長) ※欠席</p> <p>久保勝廣委員(特定非営利活動法人六ヶ所村スポーツ協会 会長)</p> <p>久保政廣委員(六ヶ所村消防団 団長) ※欠席</p> <p>橋本篤哉委員(六ヶ所村教育委員会 教育長職務代理者)</p> <p>齋藤英明委員(公募) ※欠席</p> <p>秋元美穂委員(公募) ※欠席</p> <p>竹内大二委員(公益財団法人 環境科学技術研究所 理事)</p> <p>林巧委員(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子エネルギー部門 六ヶ所研究所 ブランケット研究開発部長) ※欠席</p> <p>工藤純一委員(新むつ小川原株式会社取締役常務執行役員 青森本部長) ※欠席</p> <p>相澤文雄委員(日本原燃株式会社地域・広報本部 副本部長)</p>	
	事務局	<p>六ヶ所村役場 総務課 種市課長</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 円子課長補佐</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 林下GM</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 佐々木主幹</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 相内主査</p> <p>六ヶ所村役場 総務課 浅野主事</p>
	事務局支援	建設技術研究所東京本社都市部 PFI・PPP室 川井、猪股

## 1. 配布資料

- 資料1 六ヶ所村新庁舎建設基本計画（案）の構成について
- 資料2 六ヶ所村新庁舎建設基本計画策定スケジュールについて
- 参考資料1 六ヶ所村新庁舎建設基本構想 概要版
- 参考資料2 六ヶ所村新庁舎建設基本構想について
- 参考資料3 日本原燃新緊急時対策所（免振構造）視察報告書

## 2. 審議内容

### 開会

- 事務局より、開会の挨拶を行った。

### 委嘱状交付

- 委嘱状の交付、委員紹介を行った。

### 委員長あいさつ

- 委員長より、挨拶を行った。

### 事務局より資料の確認

- 事務局より、配布資料の確認を行った。

## 3. 案件

### （1）副委員長の選任について

- 事務局より、副委員長の互選について説明を行った。伊藤委員が異動となり、副委員長を選出したい。
- 【委員】事務局案をいただきたい。
- 【事務局】小藤委員に副委員長をお願いしたい。  
⇒【委員一同】異議なし。
- 小藤副委員長より挨拶を行った。

### （2）参考資料について

- 事務局より、参考資料1「六ヶ所村新庁舎建設基本構想概要版」を説明。
- 事務局より、参考資料2「六ヶ所村新庁舎建設基本構想について」を説明。
- 事務局より、参考資料3「日本原燃新緊急時対策所（免振構造）視察報告書」を説明。

### （3）六ヶ所村新庁舎建設基本計画（案）の構成について

- 事務局より、資料1「六ヶ所村新庁舎建設基本計画（案）の構成」を説明。
- 【委員長】基本理念が最も重要であるが、コスト等により各基本理念の両立が難しくなることも想定されるため、3つの基本理念の優先順位をある程度決めておくことは出来ないか。  
⇒【事務局】防災を重視して検討してきたが、庁舎を中心としたまちづくりを踏まえ候補地を選定した。防災等も更なる検討の余地があるため、検討を進めながら優先順位も考慮したい。

- 【委員】ヘリポート、ドローン等に関連し、建物の高さの制限が課題の一つと考える。  
⇒【事務局】新庁舎建設に向けた庁内検討体制を調整しており、その中でも検討を進める。また、敷地面積や敷地利用計画、構造形式等を踏まえ、検討委員会で検討いただきたい。ヘリポートについては、新庁舎への整備や学校敷地等の活用も考えられる。ドローンについては、庁舎建設の検討後になると思われるが、道路構造を踏まえ検討が必要と考えている。
- 【委員】建設コストについて、倍以上になる等、増える可能性も十分にあると考える。高さや面積を縮減することも考えているのか。  
⇒【事務局】基本構想では概算事業費 57 億円程度を見込んでいた。住民説明会でも説明したが、竣工は令和 11 年頃になると思われ、その都度の検討が必要であるが、基本計画ではその時点の検討を行う。  
⇒【委員】大きな負担とならないよう検討いただきたい。
- 【副委員長】都市計画手続きに 3 年間を見込んでいるが、県との協議等具体的な見通しを示していただきたい。また、複合施設を検討しているが、手続きのパターンによりできるものできないものもある。次回以降、都市計画手続きに係るスケジュールを示していただきたい。  
⇒【事務局】建設候補地は特定保留地であり、尾駈レイクタウン北地区の市街化が計画的に進んでいること等が解除の条件となる。議会へも手続きには複数パターンある旨を説明している。各手法での制約条件を早期に整理し、早く庁舎を建設するためにはどの手法が適し、計画内容に沿った整備のためにはどの手法が適しているか、ということを示したい。
- 【委員長】「3. 新庁舎の導入機能」「4. 新庁舎の規模」「5. 新庁舎の建築計画」は図面上での検討になると思われるが、出来るだけ早い段階で整備イメージが分かるものを提示いただき、意見を収集できるようにしたい。検討の最終段階になっては意見が出せない。  
⇒【副委員長】コンサルタントとの契約内容によるのではないか。  
⇒【CTI】導入機能については、事例や写真等のイメージしやすいものを提示したい。
- 【委員】複合施設については今後の検討課題か。  
⇒【事務局】基本構想では導入の可能性がある機能を列挙した。基本計画では、機能の可否を議論していただき、精査したい。また、都市計画の手続きパターンによっては制約が生じるため、連携して検討したい。
- 【委員】行政機能について、新しい公共ということ、行政だけではなく NPO 等がサービスを提供するといったこともある。村としてコアとなる行政、NPO 等他が提供する行政など、どのようにサービスを提供していくかにより、建物に必要な機能が決まる。検討当初から時間が経過しており、何か取り入れるべきものがあるのか整理いただきたい。  
⇒【事務局】例えば、活動団体の機能の導入の意見等もあるため、可否の検討は必要と考える。また、デジタル化が進む社会に対応した計画も必要で、委員の意見を反映していきたい。
- 【委員長】今後 10 年で社会情勢が変化すると思われるが、どう考えるか。  
⇒【事務局】行政手続きのオンライン化を進めている。昨年度 27 の手続きをオンライン化した。また、国から求められている行政手続きのオンライン化を今後進めていく予定である。

### (3) 六ヶ所村新庁舎建設基本計画策定スケジュールについて

- 事務局より、資料 2 「六ヶ所村新庁舎建設基本計画策定スケジュール」を説明。
- 【委員】現在の職員の体制で庁舎建設という大きな事業を進めるわけだが、職員配置はどうなっているのか。  
⇒【事務局】令和元年 11 月の庁内検討委員会から検討をスタートしている。庁舎整備検討専門の職員は配置せず、総務課職員が担当している。  
⇒【副委員長】建設準備室を設けることが一般的ではある。
- 【委員】参考資料 2 の今後のスケジュールに関して、令和 6~7 年度に検討の空白期間がある。今年度末の策定を目指すとのことだが、今年度中の策定は必須なのか。この令和 6~7 年度の期間にかけて基本計画の策定が延長されることもあり得るのか。  
⇒【事務局】令和 12 年度末の完成を考えると、基本計画の検討が令和 6 年度に掛かっても問題ないとも考えるが、コンサルタントとの契約があり、契約履行のためにも今年度中の策定を目指

す。なお、基本構想は案から策定まで1年程度を要したため、今年度中に基本計画の案まで策定したいと考えている。

- 【委員】住民意見を集約した後に策定とすると、オプションを付けた答申案を検討するのか、まとめた答申案とした方がよいのか、考えはあるか。  
⇒【事務局】事務局としては1つの案としてまとめていただけると助かる。委員長とも相談しながら、検討委員会で検討して最終的な答申案としていただきたい。  
⇒【委員長】住民意見集約が答申後にあり、意見の反映が時間的にも難しいのではないか。第12回検討委員会までに基本計画がある程度固まるため、11月頃にイベント等での意見収集を実施することも考えられるが、どうか。  
⇒【事務局】答申は委員会の最終結果としてまとめていただきたいが、あくまで基本計画案としての答申となる。最終的な計画策定は、答申を受けた村長が住民意見等を踏まえて策定となる。住民参加のWSを基本構想の検討段階で実施したが、なかなか参加者が集まらない状況であった。そのため、基本計画の検討においてもWSの開催を計画はしているが、実施を決定していないため提示していなかった。
- 【委員長】スケジュールに沿って検討を進めさせていただきたい。

## その他・閉会

- 【委員】参考資料1について、将来的に、村営住宅や車庫、消防署の移転は考えているか。  
⇒【事務局】検討委員会立ち上げ時に村長からの諮問の中に防災機能があった。公営住宅や車庫の方針は、耐用年数を確認し、既存庁舎の活用も含め、この委員会ではないがいずれ検討が必要と考えている。
- 閉会

以上